



西東京市農産物キャラクター  
「めぐみちゃん」

# 農業委員会だより

## 西東京市の風と緑～

第17号

編集・発行 西東京市農業委員会  
(保谷庁舎)

住所:西東京市中町1-5-1  
TEL:042-438-4044(直通)

### 西東京市民まつり

11月8日(土)・9日(日)の両日、第14回西東京市民まつりが、いこいの森公園で盛大に開催されました。

天気予報では、2日目は雨の予報でしたが、午前中に一時、雨が降ったものの、その後天気が持ち直し、2日間で16万9千人の来場がありました。

農業部門では、毎年恒例の品評会が開催され、農業者が丹精込めて生産した642点の農産物が出品されました。

今年は、夏の猛暑で農産物がとても育てにくく、また、秋に入ると台風



が続き、野菜などの根が折れはしないかと、農業者にとっては、大変な苦労の連続でした。そのような中でも、農業者の生産に向けた努力により、とても素晴らしい農産物がそろいました。

また、毎年恒例の野菜で作られた宝船も展示され、来場者の注目を集めていました。9日の午後に行われた宝分けは、大変な人気で、品評会に出品した農産物の販売とともに、多くの市民に市内産農産物をPRする機会となりました。

品評会の主な受賞者は、次の方々です(敬称略)。

### 野菜部門

- 東京都知事賞 大谷 勝
- ブロッコリー 下田 茂昭
- 東京都産業労働局長賞 都築 俊
- 大根 本橋 和利
- 東京都農業振興事務所長賞 河合 芳治
- 柿 海老澤孫次
- 西東京市長賞 本橋 和利
- キャベツ 河合 芳治
- 西東京市議会議長賞 海老澤孫次
- 大根 本橋 和利
- ブロッコリー 海老澤孫次

### 植木部門

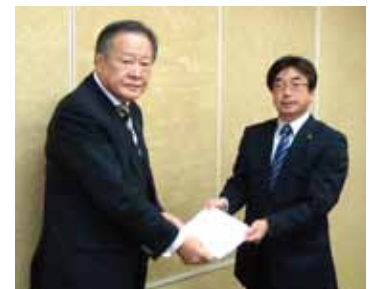
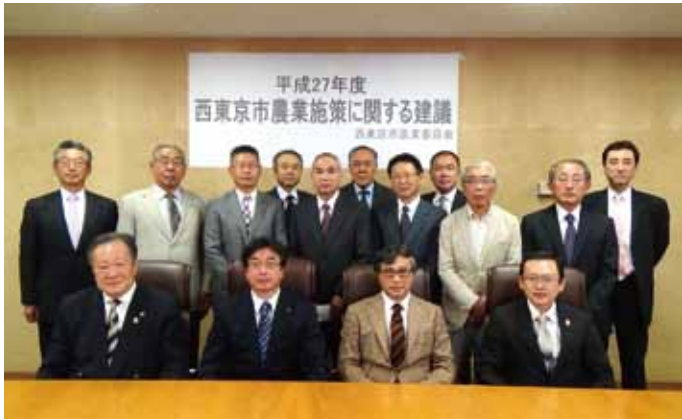
- 東京都知事賞 岡部 光一
- ヤマボウシ 野口 秀晶
- 東京都産業労働局長賞 野口 秀晶
- アセビ(赤花) 野口 秀晶
- 東京都農業振興事務所長賞 本橋 保昭
- 葉ポタン(丸葉) 本橋 保昭
- 西東京市長賞 本橋 保昭
- ブルーエンジェル 土方 功
- 西東京市議会議長賞 栗島 博
- 常緑ヤマボウシ 栗島 博
- 西東京市農業委員会会長賞 櫻井 清一
- オリーブ 櫻井 清一



## 農業施策に関する 建議について

11月6日(木)に村田会長、農業委員12名が出席し、農業施策に関する建議書を市長に提出しました。

今回の建議では、厳しい経済・社会情勢に対応できる農業の実現に向け、農業振興に関する多様な取り組みの推進、農地保全を目的とした農地の有効利用促進、及び都市農業における農業委員会組織の役割重視の観点から、①市内農業に対する市民等の理解を深める取組の推進、②農産物の販路拡大の支援、③各種補助制度に係る効



果の検証及び新たな補助的な検討、④生産緑地の再指定等、⑤農業委員会の制度見直しに係る対応、⑥農業委員会活動の周知の支援の6項目の内容を盛り込んでおります。

建議書を提出した後、市長から、建議内容に関する取組に向けた考えを伺い、その後、懇談の時間をいただきました。この中で、農業委員からは、現在政府が進めている農業改革に関する課題、制度改正が見込まれる農業委員会組織の運営に対する考え方、市の農業振興施策に対する要望など活発な意見が出されました。

## 緑のアカデミー

11月22日(土)、向台町二丁目の向台公園で、田無緑化組合の協力により、緑のアカデミーが開催されました。

200人の市民が参加し、①植木「プロの技」植木の植栽の実演、②市内で育った苗木を活用した樹木アレンジメント教室、③グリーン・プロ講習会といったプログラ

ムにより、緑と職人の技を楽しんでいたいただきました。また、ファームカーも登場し、「もっと身近に！市内農業講座」と題し、市内の植木の圃場等を紹介するビデオを上映しました。



## 親子で野菜づくりに チャレンジ

9月6日(土)に種まき、11月1日(土)に収穫の日程で、農のアカデミー体験実習農園において、市が主催する「親子で野菜づくりにチャレンジ」が、3名の農業委員が協力する中で行われました。20組40人の親子が参加し、市の農業の話聞いた後、野菜の栽培方法の説明を受け、実際に種蒔きや収穫の作業を行いました。



今年、種まきの後、二度の台風に襲われ、生育が心配されました。その都度、農業委員が手入れをされ、たくさんのかぶ、大根が育ち、親子での収穫を体験することができました。

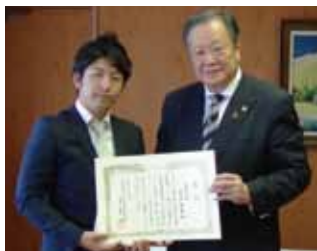
農業委員からは、作付けから収穫に至るまで、畑で行ってきた作業の内容や野菜の生育の経過、また収穫した野菜の特長や調理法などの話があり、参加者の皆さんに西東京市の農業を理解していただく機会となりました。



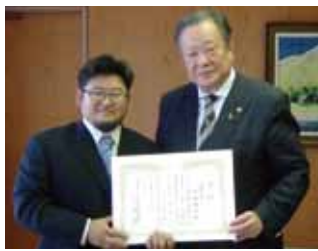
受賞  
おめでとうございます

平成26年度東京都農林水産振興財団新規就業奨励事業奨励賞の賞状伝達式が、去る11月6日(木)、市役所田無庁舎にて行われました。本市では、平成25年度中に新たに農業に新規就業された二人の方が、受賞されました。

当日は、村田会長、保谷会長職務代理が同席する中、市長から賞状及び記念品が手渡されました。続いて、市長からは、若いお二人に、農業の振興・発展のため、大いに活躍を期待している旨の激励をいただきました。



安田 弘貴 様  
西原町二丁目



下田 峰文 様  
保谷町五丁目

新規就農者の声

■ 下田 峰文

私の家は、先祖代々農家をやっております。今回私は、農業を継承するにあたり、昔ながらのやり方を取り入れながらも、現代の、特に東京という立地を生かした営農を行っていきたいと考えています。西東京市を含む都市型農業は、多品種少量生産という特徴もあり、自分なりの作物の作り方を積極的に試みることができるとはなにかと思っております。そして、就農する中で地域や現代農業に少しでも貢献できればと思っております。

■ 安田 弘貴

この度、新しく農業に就きました。大学卒業後、会社員として働き、結婚を機に妻と共に農業を継ぐことになりました。

実家の近くにも畑があり、環境には慣れていますが、知らないことばかりで覚える事が多く大変です。しかし、今は何もわからない分、新しいことづくしなので農業も面白いと感じています。

今後は、ノウハウが分かっけたら、色々な作物に挑戦したり農産物でこの市を活性化できればと考えています。



学校給食での  
地場農産物の活用

西東京市立小学校栄養士会  
市内の小中学校の給食では、児童・生徒に地産地消の良さを伝えるために、地場農産物を積極的に使用しています。この取組は昭和52年頃から始まり、現在ご協力いただいている農家の数は16件です(市教育委員会への登録数)。

年間をとおして収穫される小松菜などの葉菜や、枝豆、里芋などの季節野菜の他、梨やぶどう、キウイフルーツなどの果物も献立に取り入れ、季節がめぐること味わえるおいしさを、給食をとおして伝えていきます。

♪市内産野菜を使った簡単朝食レシピ♪

ぶたキャベ			
材料	分量(2人分)	切り方	作り方
豚肉薄切り	2~4枚		①キャベツ・もやし・えのきの半量を容器に入れ、豚肉を並べ、残りの野菜を上に乗せる。
キャベツ	2枚	ざく切り	
もやし	1カップ		②軽くラップをかけて、ゆで野菜モードでレンジにかける。
えのき	1/2株	1/2カット	
ドレッシング	適量		③ドレッシングをかける。

西東京市立小学校教育研究会学校給食部 作成  
(保護者にも、地場農産物のおいしさを啓発しています)

③大根抜き体験(田無小)



①枝豆のさやもぎ体験(碧山小)



②もいだ枝豆と  
市内産夏野菜カレーで匂づくし

また、給食に使用するだけでなく、とうもろこしの皮むきや枝豆のさやとりなどの体験活動、農地を訪問してのお手伝いや収穫体験、生活科のゲストティーチャー等、教科活動にも多く協力していただいています。

青果店から購入するものと違い、収穫の遅れなどで予定献立どおりに納品されないこともありませんが、数km圏内で収穫され、すぐに届けられる野菜や果物の新鮮なおいしさは格別です。子供たちが農業を身近に感じ、地域の産業に誇りをもてるよう、これからもおいしい地場農産物を給食で紹介していきたいと思えます。

**めぐみちゃんメニユーフェスタで  
「ちびっこファーマー&シェフsキッチン」  
【西東京マルシエ】を開催しました。**

市では、7月27日(日)、【ちびっこファーマー&シェフsキッチン】を開催しました。公募により募集した親子10組20人が、市内農業者の畑を訪問、農産物を収穫、その農産物を使って調理する体験をしました。畑では、農業者の方から農産物の説明等を受けながら、収穫を体験しました。また、調理では、講師としてめぐみちゃんメニユー提供店の方をお招きし、参加者自身が収穫した採れたての野菜やハーブを使って、調理方法の指導を受けながらピザを作りました。



また、同日【西東京マルシエ】を、JA東京みらい田無支店の敷地で開催しました。めぐみちゃんメニ

ユー事業の参加農業者及び商工業者が出店し、それぞれが生産している

農産物や加工品を販売しました。先着50人を対象に、西東京市農産物キャラクター「めぐみちゃん」がデザインされたエコバッグを配布しました。また、当日出店ができなかった参加事業者から提供された、メニユー紹介チラシをめぐみちゃんメニユー食べ歩きマップと共に配布し、事業をPRする機会となりました。

**農地の適正な管理について**

農地は、農地法により、権利を有する方が、農業上の適正かつ効率的な利用を確保しなければならぬ旨が定められています。

管理状況の不良は、周辺農地に悪影響を及ぼすばかりでなく、他の農業者や市内農業に対する不信や誤解を招く恐れがあります。

農業者の皆様には、農地法の趣旨に則って、適正な管理を行っていただきますようお願い申し上げます。

**農地利用状況調査**

10月22日(水)から10月24日(金の3日間で、農地法に基づく農地利用状況調査(農地パトロール)を

実施いたしました。

班分けを行い、班の分担地区の農地を農業委員会で作成した肥培管理基準に基づいて、公正な観点で調査しました。

日頃より、丁寧な肥培管理を行っている様子がうかがえる農地が大半を占める中、一部ではありますが、肥培管理上、課題のある農地も見受けられました。

農業者の皆様には、事前調査の段階から当日までご協力いただきありがとうございます。農業委員会では、引き続き、農地の適切な利用に対する助言・指導を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

**めぐみちゃんメニユー事業**

市では、市内産農産物を必ず1品以上使用した飲食物(加工品・土産物などを含む。)を飲食店などの協力を得てメニユー化し、消費者などへ提供することにより、農業振興を図るとともに、地域経済の活性化を促進することを目的に、昨年度に引き続き「めぐみちゃんメニユー事業」を実施しています。

11月末現在、19の商工業者に対し、67のめぐみちゃんメニユーを認定、27の農業者が参加されています。

めぐみちゃんメニユーを提供

するお店では、店内に出荷先の農業者の方の情報を表示しています。市内で農業を営む方であれば、どなたでも本事業に参加することができます。「もっと多くの市民の方に、私たちが作った農産物を食べてもらいたい!」「飲食店の人たちとメニユーを開発したい!」「西東京市の農業を盛り上げたい!」「西東京市の魅力づくりに協力したい!」とお考えの方は、ぜひお問い合わせください。

**問い合わせ先** 「めぐみちゃんメニユー事業」事務局(委託先・株式会社マインドシエア内) 電話03(6823) 1234 (受付時間月・水・金午前10時~午後5時) 専用ホームページ: たつぷり畑の恵み / 西東京市農のあるまちサイト



**編集後記**

農業委員会だより第17号をお届けいたします。いかがでしたか。皆様方のご愛読を心からお願ひします。

寒い日が続きますが、皆様、お体に気をつけて、よいお年をお迎えください。

編集委員一同